

現場の失敗と
その反省
X-9

下水道工事の埋設管復旧での失敗

1. 工事内容

当工事は平成16年11月～平成17年6月にかけて、汚水幹線築造を管推進工にて施工する工事であった。

立抗5箇所、推進延長 L=230m、付帯1式

2. 工事の経緯

立抗築造において、本工事は工業用水・水道本管が重複しており、農業用水管を避けることが、困難のため、時期的に使用していないということで、工事中切断した。立抗築造後、埋め戻しに際し、切断部塩ビ管VP200を4月に復旧した。

しかし5月の農業用水時期に送水すると漏水して地上に水が噴出した。

すぐに舗装を剥ぎ取り再度、復旧し、送水後確認して、埋め戻し、舗装復旧終了した。

3. 反省点

塩ビ管ということで送水後の確認をせずに埋め戻した。今後は埋設管はすべて管理者にチェックをしてもらい了解のもと埋め戻しを行いたい。



写真-1 施工中



写真-2 手直し後